

2017年10月 高麗の山里～日和田山ハイキングのご案内

2-3 期校友会ハイキング同好会
担当科 美術工芸科

2017年年10月度の「高麗の山里～日和田山ハイキング」のご案内をいたします。

1. 日時 2017年10月6日（金）
2. 行先 高麗の山里～日和田山
3. 参加費 4000円（20人参加の場合）
4. 予定

集合： 熊谷駅南口 8：00

行程： 熊谷駅南口 8：10 発→武蔵横手駅 9：30 着（WC）9：50 発→
五常の滝 10：20 着→北向地藏 11：05 着（休憩）→物見山 11：45 着（昼食、
広場、標高 375m）12：45 発→駒高 13：05 着（WC、小さいあづまや、
自販機、天気良ければ富士が見える）→日和田山着 13：35 着（休憩、高麗の
里を展望、集合写真、標高 305m）14：00 発→日和田山登山口着 14：30→
バスに乘車→高麗神社 14：50 着（参拝、WC）15：20 発→熊谷駅南口着
16：50 解散

距離： 武蔵横手駅→日和田山登山口 約 10km、時間：約 3.5 時間

5. 参加申込み 希望者は8月31日（木）までに各科の幹事をお願いします。
6. その他、注意事項
 - ・昼食は各自持参ください。
 - ・雨具、防寒具を用意して下さい。
 - ・悪天候の場合には目的地を変更する事があります。



五常の滝



日和田山頂からの高麗の里

幹事：福祉・環境科	笹沢 修	sasazawa2910@triton.ocn.ne.jp	080-2675-3800
ふるさと伝承科	加藤 治朗	ikatoh19@sirius.ocn.ne.jp	090-1894-1679
美術工芸科	市野 富雄	ichino1010@jcom.zaq.ne.jp	080-1189-4660

コースとスポット解説

・標高図



・五常の滝

五常とは、仁・義・礼・智・信の5つの道徳のこと。滝の落差は12m。清冽（せいれつ）で豊富な水量を誇り、滝の隣なりには瀧不動尊が祀られています。

・北向地藏

天明6年（1786年）流行した悪疫を防ごうと野州岩舟地藏尊より分身として譲り受け、北の方、岩舟地藏尊に向い合せ守護神にしたと伝えられる丁度北を向いて立っているのので、北向地藏の名で親しまれる。

・物見山（ものみやま）

標高375.4m、日高で最も高い山で、春には新緑、秋には紅葉が美しく映え、日高のハイキングコースの一つの奥武蔵自然歩道が整備されています。

・日和田山（ひわださん）

標高305.1mの山は簡易なハイキングに最適で、日高のシンボルとして親しまれています。山頂付近にたつ鳥居からは、巾着田を形作る川の蛇行が一目瞭然です。

・高麗神社

元正天皇霊亀2年（716年）武蔵国に新設された高麗郡の首長として当地に赴任してきた高麗王若光（こまのこきし じゃっこう）は、未開の原野であった当地に大陸文化を伝え、各地から移り住んだ高麗人（高句麗人）1799人とともに当地の開拓に当たりました。若光が当地で没した後、高麗郡民はその徳を偲び、御霊を「高麗明神」として祀り高麗神社が創建されたといわれています。